



2015年3月9日



「DBJ BCM格付」「DBJ 環境格付」を取得

～中四国地域の小売業としては初めての同時取得～

株式会社フジ(本社:愛媛県松山市、代表取締役社長:尾崎 英雄、以下「フジ」という。)は、株式会社日本政策投資銀行(代表取締役社長:橋本 徹、以下「DBJ」という。)による「DBJ BCM格付」および「DBJ 環境格付」を中四国地域の小売業としては初めて同時に取得し、その融資制度の適用を受けました。

「DBJ BCM格付」および「DBJ環境格付」は、DBJが開発したスクリーニングシステム(格付システム)により、企業の環境経営度や防災・事業継続への取り組みを評点化、優れた企業を選定し、その評価に応じて融資条件を設定する世界で初めての融資メニューです。

今回の格付では、以下の点を評価いただきました。

【DBJ BCM格付】

- (1) 全店舗の店長が防災士の資格を取得、本部・店舗における災害発生時の初動対応について周知・徹底することで、災害時の円滑な店舗復旧に努めている点
- (2) 平時より取引先との情報交換や手動の入出荷作業訓練を実施する等、事業継続リスクの低減に注力している点
- (3) 防災訓練や研修会を合同開催する等、自治体や近隣企業とネットワークを構築することで地域防災力向上に貢献している点

【DBJ 環境格付】

- (1) ほぼ全店舗に導入済みのBEMS(※)を活用したデータ分析を行うとともに、その結果に基づくオペレーションの見直しを全店舗に周知し、全社でエネルギー効率の改善に努めている点
- (2) 地域農家と連携して「食品リサイクルループ」を構築し、生産された農産物の販売拡大を図ることにより、循環型社会の構築および地域農業の活性化に貢献している点
- (3) 環境イベントの積極的な展開を通じ、地域住民に対して啓蒙・啓発を行い、消費者と共同で環境配慮に取り組んでいる点

※BEMS(Building Energy Management System)の略。

ビルの機器・設備等の運転管理によってエネルギー消費量の削減をはかるためのシステムのこと

フジは今後も、事業継続性の強化をはかり、大規模災害等の災害が発生した場合にはライフラインとしての役割を果たし、地域の皆様のくらしに貢献できるよう努めてまいります。また、企業市民として環境保全活動を積極的に推進し、環境調和型企业を目指します。

以 上